

# 上下水道部 運営方針

## めざす まちの姿

災害に対する備えができているまち  
快適な住環境が整ったまち

## 部の 運営方針

- ・ 公営企業として、将来にわたり安定的に事業を継続していくため、独立採算制の基本原則に立脚した経営をめざすとともに、職員間の技術継承、若手職員の技術向上、非常時における対応力の強化に努めます。
- ・ 水道施設の耐震化と更新を計画的に進めるとともに、水質検査体制の充実により、安全安心でおいしい水の安定供給に努めます。
- ・ 安全・安心・快適に暮らすまちをめざし、計画的に浸水被害軽減のための対策に取り組むとともに、市民生活における公衆衛生の向上と生活環境を改善するため、公共下水道の普及と運用に努めます。

## 成果指標(目標値)

成果指標	現状		目標		担当課
	年度 (平成)	値	年度 (令和)	値	
経常収支（水道事業）	29	黒字	元年	黒字	上下水道経営課
普及率（％） （公共下水道事業）	30	68.7	元年	68.9	
下水道未接続戸数（戸）	30	3,541 <sup>※1</sup>	元年	3,080	
管路の耐震化率（％）	30	9.7	元年	11.0	水道工務課
水質基準不適合（回）	30	0	元年	0	配水管理事務所
公共下水道整備の推進率（％） ※公共下水道事業計画面積に対する割合	30	96.4	元年	96.9	下水建設課

※1 平成31年3月31日供用開始となった戸数（545件）を含む。

# 令和元年度 上下水道部 運営方針

## 重点取組

- ・今年度末までに、中長期的な経営の基本計画となる公共下水道事業経営戦略を策定します。
- ・水道事業経営戦略の進捗管理を行うとともに、将来的な経費削減のための施設規模の適正化を検討し、水道施設最適化計画を策定します。
- ・水道施設の維持管理におけるリスクアセスメントを推進するとともに、水質検査体制の充実と検査結果の信頼性の向上を図ります。
- ・水道水を安定供給するための管路の耐震化や更新に取り組みます。
- ・浸水対策としての雨水の排除・貯留施設を整備します。
- ・公共下水道の整備を進めるとともに、ストックマネジメント計画に基づく施設の維持管理を行います。

主要事業		内 容	重点方針	担当課
1	公共下水道事業経営戦略の策定	上下水道事業経営審議会において、適正な下水道使用料や今後の下水道整備地区などについて審議・検討を行い、経営戦略を策定します。	②	上下水道経営課
2	水道施設最適化計画の策定	今後更新が必要な水道施設に対し、将来の人口減少を踏まえたダウンサイジングの考え方を導入し、施設規模の適正化に向けた検討を行い、水道施設最適化計画を策定します。	②	
3	浄化センターの適正な施設管理	下水処理施設を適正に運転するため、計画に基づき維持管理を行います。また、大雨や地震などの非常時に対応するため、職員の技術的な能力の向上を図ります。	②	浄化センター
4	公共下水道事業の普及促進	受益者負担金の円滑な賦課及び徴収を行うため、受益者への周知及び説明会を実施します。 また、早期の下水道接続を実現するため、1年を通して戸別訪問による接続促進活動を実施します。	②	上下水道業務課
5	管路耐震化整備	地震災害時などにおける安定した送配水を確保するため、管路の耐震化工事を実施します。	②	水道工務課

6	安全安心でおいしい水の安定供給	<p>職場の労働安全衛生の向上を図るため、リスクアセスメントの導入を進めるとともに、水質管理を徹底するため、水安全計画及び水道水質検査計画を適切に運用します。</p> <p>また、水道事業における環境負荷低減を図るため、水道施設の省エネルギー化を推進します。</p>	②	配水管理事務所
7	浸水対策	<p>台風や局地的大雨による浸水被害を軽減するため、熊野桜佐土地区画整理事業の進捗にあわせ、引き続き熊野雨水幹線及び支線の整備を進めるとともに、熊野桜佐ポンプ場の建設に着手します。</p>	②	下水建設課
8	公共下水道施設整備	<p>公衆衛生の確保と生活環境の改善及び公共水域の水質保全のため、引き続き上条地区の幹線管渠や面的整備を進めるとともに、ストックマネジメント計画に基づく施設の計画的な改築更新を行います。</p>	②	